

はじめに

このたび、平成 25 年度の業務内容および調査研究の成果を、名古屋市環境科学調査センター年報としてとりまとめました。

当センターでは、調査研究や学術的な情報を発信するだけでなく、市民の皆様の生活環境を守るべく積極的な広報活動を実施し、専門外の方々にも理解していただける情報の発信に努めております。

平成 25 年度には、PM_{2.5}による大気汚染が、社会的に大きな関心を呼びましたが、当センターでは、PM_{2.5}に関する研究発表や出前講座等さまざまな講座で職員が解説するとともに、新聞等のマスコミュニケーションによる発信にも貢献しました。

これらの貢献が可能であったのは、一般に大きな問題として認識される以前から、PM_{2.5}に関する調査研究を継続していたことによる点が大きいと考えております。今後も、このような先見的・予防的な研究も含め、本市が直面する環境問題の解決に向けて全力で取り組んでまいります。

また、本年 11 月には本市において「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催されました。

この会議で採択された「あいち・なごや宣言」は、気候変動や生物多様性の保持、防災など世界的な課題に対し、すべての国が ESD を促進する必要性を強調するとともに、すぐれた事例に奨励金を与える「ユネスコ日本 ESD 賞」の創設などを定めました。

当センターも、PM_{2.5}に代表される大気汚染や生物多様性等の調査研究を引き続き推進するとともに、持続可能な社会を支える担い手を育む教育の一助となるよう、情報発信の強化や各種講座の開催にも努めてまいりたいと考えております。

今後とも、当センターの目標を達成するために、関係者皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

名古屋市環境科学調査センター
所長 今 枝 康 一